

5 回生 倉成英俊さん (佐賀市出身)



世界、そして人々の未来を！

～みんなを幸せにする係～

1988年4月 弘学館中学校入学
1994年3月 弘学館高等学校卒業
1994年4月 東京大学理科I類入学
1998年3月 東京大学工学部卒業
2000年4月 株式会社電通入社
2007年2月 バルセロナのデザイナー
のスタジオへ半年留学

発明家から

コピーライターへ

弘学館時代は、宿題だけはきちんとしていました。それでも模試の成績は悪くありませんでした。寮の中ではノートの貸し借りや教え合いをしていました。定期考査は一週間前に集中して勉強していて、このことが今の締め切り直前の集中力につながっていると思います。

小さい頃から将来の夢は発明家で、そのために東京大学機械工学科に進学しました。しかし、大学生のとき、自分が本当にやりたいのは生活に近い所でアイデアを出す主婦の発明のようなのだと気づき、コピーライターを養成する学校に入学しました。その学校を卒業した後、「電通クリエイティブ塾」というところから電通に入社しました。採用試験では解答用紙にカレールーを貼り付けて郵送しました。チャンスの時に遊んだ答えを書いたのが良かったのだと思います。

コピーライターから

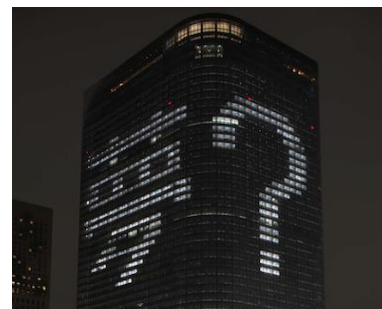
プロデューサーへ

コピーライターの仕事は商品のキャッチフレーズを書くことです。考え方のベースは自分がこうしたらどうだろう？と思うことですが、制約があるから考えやすいというものもあります。良さを見つけたうえで、届けるべき人にどう伝えるかということを常に考えて仕事をしています。

今までで一番転機になった仕事はAPECの総合プロデュースです。佐賀出身の人に出会って、その人からたまたま紹介された人がきっかけで、色々あってそのお仕事することになりました。これはプロジェクトを作ることのいい経験になりました。

これからは「世界を面白くする係」として「世界って捨てたもんじゃねえな」と思ってもらえるような、そんなプロジェクトができればいいなと思います。

(2018年6月現在)



文字を書くことができる電通ビル

倉成英俊さんのとある一日

9:00 喫茶店でメール整理等

10:30 出社

11:00 打ち合わせ1
(飲み物の新商品開発)

13:00 打ち合わせ2
(車についてのアイデア)

15:00 打ち合わせ3
(教育のプロジェクト)

17:00 打ち合わせ4 (新しい
仕事の相談を受ける)

20:00 社外の、いつか仕事をした
いと思っている人と会食

後輩へのメッセージ

自分の人生。大人やトレンドに惑わされず、自分が思うようにするのがいいと思います。